

# 解答編

## 英語

- I **解答** [A] 1-ア 2-ウ 3-ウ  
[B] 4-ウ 5-ア 6-ア

### ◆全 訳◆

[A] 《飲み物をめぐる友人同士の会話》

A：やあ、ジーナ！ いいトレーニングだった？

B：ええ、とてもよかったわ！ しばらく走ってなかったから少しキツかったけどね。

A：そうか、君に会えてよかった。ところで、君がそこで飲んでいるのは何なんだい？

B：ああ、これ？ 先週発売され始めた新しいエネルギードリンクよ。

A：格好いいなあ。君はいつも最新の流行を取り入れてるよね。実は僕は、最近その製品の発売について、テレビのコマーシャルで見たことを覚えてるよ。

B：まあ、あなたもそれを見てたの？ そのコマーシャルには本当に音が大きくてテンポの速いロック音楽が流れてたわよね？

A：そうだよ！ それにその缶は全部の色彩が僕の注意を引いたんだよ。

B：正直言って、そのデザインこそが、まさに私がそれを飲んでみようと思った理由なのよ。

A：そうだね、本当に格好いい見た目だって同感するよ。よし、ひとつ試しに飲んでみようかな。

B：すっきりするわよ。でも実は私はこのようなタイプの飲み物は避けるようにと言われてるの。

A：そうだな、1日1缶に制限するのが一番だよ。

B：いいアドバイスね。飲む量には気をつけるようにするわ。それにそれよりも飲むとかなりお金がかかるでしょうからね。

〔B〕《部活動への参加をめぐる大学生同士の会話》

A：こんにちは！ 大学の卓球部に入ることに興味はありますか？

B：はい、僕は強く関心を持っていますが、十分にやっつけられるほど上手かどうか分からないのです。

A：そうなんですね。これまでの経験はどれくらいありますか？

B：あまりないんです。大部分は小さい頃に友達と遊んでいたことからの経験ですね。

A：あなたが毎週土曜日に進んで練習に来てくれるのであれば、初心者だということは実はそれほど大きな問題ではないのですよ。

B：日曜日はほとんどいつも仕事ですが、それ以外なら空いています。ですから行けるようです。練習がいつ始まるのか教えてください。

A：今日から1週間後の、来月の5日です。

B：僕が準備する必要があるものが何かありますか？

A：ご自身のラケットを持ってきてもらう必要があります。

B：部員は通常はどのくらいの金額をラケットに費やすものなのでしょうか？

A：一人一人の好みに応じて金額は大きく変わります。

B：ああ、僕は値段にそれほど大きな幅があるということがわかってませんでした。では、僕のような初心者が買うには何がお勧めでしょうか？

A：私が言えるのは、そこそこのもので、あなたの予算内のものを買うということだけですね。

B：わかりました。手助けしてもらってありがとうございました。

◀ 解 説 ▶

〔A〕 1. ジムでトレーニングを終えた後に、何を飲んでいるかと問われた後のBの返答。Aはその答えに対して「格好いいなあ。君はいつも最新の流行を取り入れてるよね」と述べていることから、その飲料は時代の最先端を行くものだと判断して、ア。「先週発売され始めた新しいエネルギードリンクよ」を選択する。

イ。「ロゴが変わったけど私のいつものスポーツドリンクよ」

ウ。「プラスチックボトルに入れたフルーツジュースよ」

エ。「長距離を走った後にいつも飲む炭酸飲料よ」

2. Bの飲む新発売の飲料に関して話題が盛り上がっている場面である。缶に使われている色遣いに注目しているというAのコメントに対し、Bが「正直に言うと」に続ける発言を選ぶ。Aはその後も続けて飲料の缶の外見について褒めていることから、この流れに沿った内容のウ。「そのデザインこそが、まさに私がそれを試そうと決めた理由なのよ」がよい。

ア。「缶の外側なんて、本当はあんまり気にしてないの」

イ。「虹のパターンはすごく子供っぽく見えると思うわ」

エ。「私がそれを選ぶことに決めた本当の理由は、あなたが思ってることとは違うわ」

以上は全て会話の流れに合わない。

3. 特定のスポーツドリンクを飲むことを避けるように言われているというBに対してのAの返答。直後にBが「いいアドバイスね」と受けていることから、相手を気遣う肯定的な表現になるウ。「1日につき1缶に制限するのがよい」を選択する。

ア。「一度に数缶飲むと絶対健康増進になる」、イ。「君の年齢なら、どれだけ飲もうが僕はほとんど心配しない」、エ。「好きなききに自由に飲むべきだ」は、飲用を禁止されている相手に対しては不適なアドバイスである上に、直後にBが「いいアドバイスね。飲む量には気をつけるようにするわ」と答えていることと内容的に合わない。

[B] 4. 大学の卓球部へ勧誘されたBが自分の実力について心配しているのに対して、勧誘する側のAが答える内容。直後にBが「あまりたくさんはありません。大部分は小さい頃に友達と遊んでいたことからの経験です」と答えていることから、卓球経験の度合いを尋ねるウ。「これまでの経験はどれくらいありますか?」が適しているとわかる。

ア。「どの程度そのスポーツを楽しんだりうまくなったりしたい?」

イ。「チームを強くするために、どれくらい頑張って貢献しますか?」

エ。「1週間に何時間練習してもかまわないと思っていますか?」

5. 毎週土曜日に週1回練習に来さえすれば、初心者であることは心配しなくてもよいと言われたことに対する返答。その後続けて練習に参加できそうだとということと開始時期について尋ねていることから、土曜日に行けることを示すア。「日曜日はほとんどいつも仕事ですが、それ以外なら空いています」を選ぶとよい。

- イ. 「毎月たいてい日曜日に3回行ける」  
 ウ. 「最終的な決断を下すのには、おそらくあと2, 3日が必要だろう」  
 エ. 「私のスケジュールは、週末はかなり忙しいが平日は空いている」  
 6. ラケットにかける標準的な価格を尋ねられたAの返答。直後にBが「値段にそれほど大きな幅があるということがわかってませんでした」と答えていることから、Aはラケットの値段には違いがあると述べたとわかるのでア。「一人一人の好みに応じて金額が大きく変わる」がよい。  
 イ. 「有名ブランド品は標準的な品と同様高額ではない」、ウ. 「初心者向けのラケットも上級者向けのラケットも値段はほとんど同じ」、エ. 「たいてい最新モデルに20ドルほどを支払う」は、いずれも価格に幅があることを示していない。

## II 解答 7-ク 8-エ 9-キ 10-イ 11-オ 12-ウ

### ◆全 訳◆

#### 《ナノテクノロジーの様々な用途》

私たちの世界はある規則、つまり、どの場所でも変わらない法則によって制御されている。例えば、光の速度は常に毎秒3億メートルである。しかしながら、自然の法則はナノレベルにおいては異なるように思える。例えば、色を帯びた物体の中には、それらがとても小さくなったときには色を持たないものもある。固体の物質の中には、それらが極小になったときは空気のようにになってしまうものもある。

ナノテクノロジー研究の科学者は、なぜこのようなことが起こるのかを理解しようとしている。なぜ粒子はその大きさによって作用が異なるのだろうか？ そして私たちは、どのようにこれらの違いを毎日の生活の中で利用できるのだろうか？

今では科学者が、ナノテクノロジーを用いて物を作ることが可能である。ナノテクノロジー学者は、ある姿を形成するために分子を動き回らせることができる。こうすることによって、彼らは驚くような使い方で物質を構築することができる。あなたが使っている日焼け止めクリームが、ナノテクノロジー学者のおかげで作られたということを知っていただろうか？ それは、太陽からあなたの肌を守ってくれる小さなナノ粒子を含んでいる

のだ。

◀ 解 説 ▶

7. 文頭の独立した副詞句 For example を除くと, the ( ) of light で主部になり, be 動詞の補語が always 300 million meters per second 「常に毎秒3億メートル」であることから, 主部全体で「光の速さ (=光速)」という意味になることができる。speed を選ぶとよい。

8. 述部の内容が「それらがとても小さいときは色を持たない」であり, 従属節内は代名詞 they で受けていることから, ( ) は数詞 some と with color 「色を帯びた」で前と後ろから修飾されて全体で文の主部になれる複数名詞になるとわかる。意味的には色や大きさを持つものということで, オ. objects 「物体」が最適である。

9. 文の構造は Some materials (S) become (V) like air (C) (when ~) (M) であるので, 空所を含む残りの部分は, Some materials を先行詞として主格の関係代名詞 that の形容詞節で修飾していると考ええる。述部の意味は「それらが極小になったときは空気のようにになってしまう」であることから, 原形時は空気以外のある一定の大きさを持ったものだったということが推測できるので, 「固体の」を表す形容詞キ. solid を選ぶと, be 動詞 are の補語になり関係詞節も成立する。

10. 所有格 our と共に名詞 life の複数形 lives を修飾できる形容詞を選択する。ナノテクノロジーの利用方法が後に続くことを予期させる文脈なので, 形容詞イ. everyday 「日常の」を選び, 我々の日々の生活の中でナノテクノロジーが利用されていることを表現するとよい。

11. 副詞 now を除くと, It is + 形容詞 + for O to do 「Oにとって～することは…だ」という形式主語・真主語構文と, using nanotechnology 「ナノテクノロジーを使って」という分詞構文が浮かび上がる。形式主語・真主語構文を成立させるように形容詞オ. possible を選択すると, その後ナノテクノロジーを使って科学者が実際に創造したものを具体的に述べていく文脈にも合う。

12. Nanotechnologists (S) can move (V) molecules (O) around (M) の文が終わった後に不定詞副詞的用法が続く構文である。to 不定詞の後には必ず動詞の原形が入るという文法と, certain shapes を目的語に取れる他動詞という条件を合わせてウ. form 「～を形成する」を選ぶと, ナ

ノテクノロジーを用いて様々な驚くべき用途のものを作り出すという後の内容とも一致する。

### III

#### 解答

13-イ 14-ウ 15-イ 16-イ 17-エ 18-ア  
19-ウ 20-ウ

#### ◀ 解 説 ▶

13. 「天草地方には世界文化遺産として登録された宗教地区があり、私たちがあなたに訪問することを推奨する観光地のひとつだ」

前半コンマまでは完全文。同格のコンマの後は a religious area の補足説明であり、文尾の他動詞 visit の目的語が欠けていることから、目的格の関係代名詞イ、that を選択して先行詞 a religious area を修飾する形容詞節を形成する。ウ、what は先行詞を内包している関係代名詞なので不可。ア、how、エ、why は関係副詞で完全文が後続しなければならないので不可。

14. 「いくつかのよく知られた組織によって寄付された巨額の金は、地方の介護施設に投資された」

主語は A tremendous amount of money であり、money は donated by several well-known organizations と後ろから修飾されている。空所に続く invested の後は in the local care facilities という副詞句が続き目的語がないことから、be 動詞のウ、was を選択して受動態を成立させるとよい。a + 形容詞 + amount of ~ の次には通例 money のような不可算名詞がきて、単数扱いとなる。

15. 「彼女は夫とうまくいっておらず、いつも彼が自分で後片付けができないと不平をこぼしている」

(She) is complaining (that) he is not able to clean up … と節で表現していたものを書き替えて、(She) is complaining of の後に動名詞句を後続させるようにしたと考えるとよい。①前置詞の後、前置詞の目的語には名詞、もしくは動名詞が続く、②否定の内容が続くときには not *doing* の形になる、③動名詞の動作主の主語が主節の主語と異なる場合は意味上の主語をつける、の3点を押さえて、of his not being able to clean up … の形になったと理解すること。

16. 「冬の期間に山で道に迷ったら、身体を暖かく保つあらゆる手段が考

慮されなければいけない」

means は単複同形の名詞で「手段」という意味。後続の to 不定詞の形容詞的用法の中は keep (V) yourself (O) warm (C) の第 5 文型であり、means を後置修飾している。述部は原形が have to do 「～しなければいけない」という意味の助動詞に受動態が続いている形である。形容詞 I, every は単数名詞を修飾して「あらゆる～」という意味を持つので、has to が 3 単現の形を取っていることと文法的に合致する。その他の選択肢は全て複数名詞を修飾する。

17. 「政治家たちがオンライン賭博を禁止する法律に賛成投票するかどうかということは、いくぶん不確かである」

文の始まりは It (S) is (V) 〈somewhat〉 uncertain (C) で完成しているので、文頭の It は形式主語、空所を含む文末までの部分で真主語を形成していると考えられる。完全文 + or not の形を後続させることができるのは、エ、whether だけである。ここでは主語にあたるため「～するかどうか」という意味の名詞節となる。

18. 「その薬はアルコールと共に服用されると、様々な副作用を引き起こす可能性がある」

選択肢に使われている take に対する目的語が空所後にはないので、受動態だと考える。時や条件や譲歩を表す従属節の中では、主節と同じ主語 + be 動詞は省略できるので、when (it is) taken together with alcohol という形であったと見抜くこと。

19. 「壊れやすい海洋生態系に対する影響のために、プラスチックごみの投棄は、それが存続することができないほどの破壊的な影響を環境に与える」

「あまりにも～すぎて…することができない」という意味の too ~ to … 構文に、to 不定詞の動作主を表す意味上の主語として for it がついた形。

20. 「海賊に支配された海洋をはるか遠く離れた所に、島民たちが安全に保っておくために、それほどまでにも勇敢に戦った財宝が存在する」

文頭の Far away across the ocean dominated by pirates は場所を表す副詞句である。続く部分は (V) the treasure (S) という倒置を起こしている文構造であることを見抜くこと。文末 to keep (V) safe (C) の部分に目的語が欠けているのに注目すると、目的格の関係代名詞 which が省略

されて、文末までが形容詞句として先行詞 the treasure を修飾して長い主部になっているということがわかる。よって、空所は単数の主語 the treasure に対して3単現の自動詞となるウ、lies が適切だとわかる。

## IV 解答 21-ウ 22-ウ 23-ア 24-エ

### ◀ 解 説 ▶

21. 「店の前にあるその機械は故障中であるとティムは気づいた」  
noticed 「～に気づいた」≡realized 「～を理解した」, out of order 「故障中で」≡not working 「作動していない」より、同じ意味だとわかるのでウが正解。

ア. making noises 「騒音を立てている」, イ. inconvenient 「不便な」, エ. needed cleaning 「掃除が必要だった」がそれぞれ不可。

22. 「パーティーの間、ジョージはジョンに落ち着くように言った」  
tell O to do 「Oに～するように言う」≡advise O to do 「Oに～するよう助言する」, settle down 「落ち着く」≡become quiet and calm 「無口かつ冷静になる」より、同じ意味だとわかるのでウが正解。

ア. stay downstairs 「階下に留まる」, イ. pay the bill 「勘定を払う」, エ. not to leave 「立ち去らないように」がそれぞれ不可。

23. 「私とその図書館を訪れたとき、私は蔵書のうちの何冊かが見当違いな場所にあると気づいた」

When I visited the library 「私とその図書館を訪れたとき」≡During my library visit 「私の図書館への訪問中」, noticed 「～に気づいた」≡saw 「～を知った」, some of the books 「蔵書のうちの何冊かが」≡some books 「何冊かの本が」, out of place 「見当違いな場所に」≡in the wrong location 「間違った位置に」より、同じ意味だとわかるのでアが正解。

イ. were damaged 「破損されて」, ウ. being borrowed 「借りられていて」, エ. missing 「行方不明で」がそれぞれ不可。

24. 「会議でその会社の取締役たちは自らの計画を入念に調べた」  
the company's directors ≡The directors of the company 「その会社の取締役たち」, went over ～ 「～を調べた」≡checked 「～を調べた」より、同じ意味だとわかるのでエが正解。

ア. changed 「変更した」, イ. agreed 「同意した」, ウ. ignored 「無視した」がそれぞれ不可。

## V **解答** 25-イ 26-ウ 27-ア 28-ア 29-イ

### ◀ 解 説 ▶

25. (a) 「実在したり生存しているものであったりする状態」  
 (b) 「その機構はもはや存在していない」  
 ア. 「出現」 イ. 「存在」 ウ. 「出席」 エ. 「生存」 in existence で「存在している, 現存の」
26. (a) 「不同意, 特に長期間続く不同意」  
 (b) 「騒音をめぐる口論の最中に, ある男性が近所の人を殴った」  
 ア. 「批判」 イ. 「無秩序」 ウ. 「口論, 紛争」 エ. 「混乱」
27. (a) 「何の証拠もないが, あることが本当であるようだと考えること」  
 (b) 「不幸なことに, その教師は生徒の全員が宿題をしていたと想定することができなかったのだ」  
 ア. 「～を想定する」 イ. 「～を決心する」 ウ. 「～と判断する」  
 エ. 「～を熟考する」
28. (a) 「書類, 法律, 合意等に対して変更を行うこと」  
 (b) 「政府が合衆国憲法を改正するために行ったあらゆる試みは, 不成功に終わっている」  
 ア. 「～を改正する」 イ. 「～を改革する」 ウ. 「～を動かす」  
 エ. 「～を変える」
29. (a) 「極端に不快な」  
 (b) 「あれらの魚箱はまったく胸が悪くなるような臭いがする」  
 ア. 「気分を落ち込ませるような」 イ. 「胸が悪くなるような」  
 ウ. 「憎しみに満ちた」 エ. 「法外な」

## VI

## 解答

[A] 30-ウ 31-エ [B] 32-オ 33-ウ  
[C] 34-エ 35-ウ [D] 36-エ 37-カ

## ◀ 解 説 ▶

並べ替えてできる英文とポイントは以下の通り。

[A] (It is extraordinary that so) little attention is paid to the rapid (extinction of so many species of wildlife.)

まずは文頭の形式主語 it を that 以下の真主語が受けて「～は異常である」という意味の構文であることを見抜く。接続詞 that 以下は完全文が続くので、pay attention to ～「～に注意を払う」を受動態にして so little attention is paid to ～「そんなにも少ない注意が～に対して払われる」→「～にはほとんど注意が払われることはない」という意味を成立させる。to の目的語の部分は A of B「B の A」と訳出できる文法に当てはめて extinction (= 絶滅 : A) of so many species of wildlife (= これほど多くの野生種 : B) という形になっている。

[B] (Although many have tried, few know) what it is like to win (an Olympic gold medal.)

譲歩の従属接続詞節 Although 節がコンマで終わった後に主節 few know に続く目的語 (O) となる間接疑問文を完成させる。この部分を理解するには、もとの文から段階を追って理解しなくてはいけない。もともとは真主語・形式主語構文 It is like A to win ～「～を勝ち取ることは A のようである」であり、前置詞 like の目的語 A を尋ねるため疑問詞 what に置き替えて What is it like to win ～? 「～を勝ち取ることはどのようなものですか?」という疑問文になった。これを間接疑問文にするためには、疑問詞 + SV の語順に直さなくてはいけないので、what it is like to win ～となり、全体で know の目的語になったものである。

[C] (Although the government) does plan to provide families with access (to childcare, it will not be free.)

コンマの後は主節 it will not be free が完成しているので、譲歩の接続詞 Although ではじまる節の中の完全文を成立させる。S provide A with B 「S は A に B を与える」を幹にして、A に families, B に access to childcare 「保育に対する権利獲得機会」をそれぞれ当てはめて、「政府は各家庭が保育所を利用できるように」の部分に対応させると文意が成立す

る。一般動詞を強調する助動詞 does を他動詞 plan の直前に置くことで、「計画してはいるが」のニュアンスを表現するとよい。

[D] However severe the financial crisis seemed to have (become, I still remained hopeful that a solution could be found.)

譲歩を表す副詞節の部分を作成すればよい。基本的に It seems that S' V' は S' seem(s) to V' 「S' は V' しそうに思える」へと書き替えができる。本問では動詞が seemed と過去形になり、しかも V' の部分が seemed よりも過去であることを表しているのので、述語動詞の時制とずれが生じることになり、It seemed that S' had V (p.p.)  $\longleftrightarrow$  S' seemed to have V (p.p.) 「S' は V したようであった」という形になったものである。譲歩の部分は The financial crisis seemed to have become very severe. という形だったものが、very の部分を however に代え、severe と共に文頭へ移動して〔解答〕のような形になったと考えれば理解しやすいだろう。

## VII

### 解答

問1. ア 問2. ア 問3. ウ 問4. ア 問5. ア

問6. イ 問7. エ・キ

### ◆全 訳◆

#### 《古くて貴重な音楽の保存をめぐる》

今日私たちが耳にしている音楽の多くは、様々な国や時代に由来する様式の混合物である。多くの音楽は、世界中の多くの異なる国々で聞かれる古くて伝統的な音楽に根源を持つ。伝統的な、つまり民謡音楽は何世紀にもわたってとまではいかないとしても、何十年間にもわたって収集されている。若者たちは、これらの歌を練習や反復を通じて年長者たちから習得している。

音楽はその歌詞、旋律、そして使用されている楽器を通じて様々な文化について多くのことを私たちに語るできるので、研究者や音楽ファンは音楽を歴史の重要な部分であると理解している。彼らは伝統的で古い型の音楽は徐々に消滅しつつあると恐れているが、それは一つにはそのような音楽は書き留められたり録音されたりする可能性が低いこと、また録音されたとしても、その録音形態がもはや使用されていない、という理由からである。また若い世代の人々は、そのような音楽はそれほど魅力的だとは思わないかもしれないので、ひとたび上の世代の人々が亡くなってし

まうと、彼らと共にその音楽は絶滅してしまうかもしれない。ジャンル全体の音楽が消滅するかもしれないのである。

音楽を多くの形態で保存しようとする努力がますます大きくなっている。研究者の中には生演奏を取り込むために、現場録音——録音スタジオ外で行われる録音——を行う者もいる。例えば、1900年代初頭、社会学者であるフランシス=デズモアは、何世代にもわたって歌われてきたが忘れられてしまう危機にあったアメリカ先住民の歌の録音を行った。研究者たちはまた、古い録音物——時には残されたその種類のうちのたった1つだけの録音物を聞くことによって譜面起こしをすることもある。彼らは、そのような音楽が現代の音楽家たちによって研究されて演奏されることができるようにと、音楽の書き起こしをしようとするのである。

音楽を収集することは音楽の保存の別の形態である。収集家の中には自らの集める音楽にことのほか情熱を傾け、何年間も製作されていなかったり販売されていなかったりするものを探すことに多くの時間や金を費やす者もいる。彼らの努力は様々な文化、分野、時代、そして場所の音楽を記録するのに役立つ。例えば、パンクロックのファンの中には、いまだに70年代の音源のカセットテープを集めている者もいるし、一方で多くのジャズファンたちは、旧式のビニールレコードを聴くことの方を好んだりする。

非常に特殊な種類の音楽を保存したり顕彰したりする協会や団体もある。例えばイーデルゾーン協会は古くて珍しいユダヤ音楽を保存する活動を援助し、スニ企画はグリゴール=マルザイアン=スニという昔の影響のあるアルメニア人作曲家の作品を顕彰し、一方でテレビゲーム音楽保存事業団は、人々が当初の形態で古いテレビゲームの音楽を聞けるようにしている。

今では、現代の科学技術によって音楽を保存することはずっと容易になっている。スマートフォンは音楽を録音するのに使うことができ、また一方で、インターネットで我々はそのような録音物を共有したり、似た関心を持った人々を見つけたりすることができる。ほどなく、ある音楽を失ってしまうということは過去のものとなるかもしれない。

---

◀ 解 説 ▶

問1. ア。「今日私たちになじみのある音楽の大部分は、何世代にもわたって受け継がれてきた歌に由来している」 第1段第1・2文 (Much of

the …) をまとめた内容である。

イ. 「今日私たちが聞く音楽は、様々な国や時代に端を発するものであるが、音楽の様式は決して混じりあうことはなかった」 同段第1文に a mixture of styles 「様式の混合物」とあることと不一致。

ウ. 「100年前よりも最近になって初めて、人々は伝統的な音楽を集め始めた」 同段第3文 (Traditional, or folk, …) で「数百年とはいかないが何十年にもわたって」とあるのは、100年前も場合によっては含まれると考えられる。したがって、不適當である。

エ. 「若い世代の人々は、仲間が演奏する種類の音楽を複製することによって、民族音楽を習得してきている」 同段最終文 (Younger generations learn …) に from their elders through practice and repetition 「練習や反復を通じて年長者たちから」とあるのと不一致。

問2. ア. 「伝統的な音楽を保存することにおける困難なことの一つは、時の経過に伴う録音形式の変化に関わりがある」 第2段第2文 (They fear that …) で研究者や音楽ファンが伝統的音楽の消滅を恐れている理由のうち、2つ目の because 節内に「そのような音楽が録音される形態が、もはや使用されていないため」とあることと一致。

イ. 「若い世代は上の世代と同じ音楽に関心があるので、伝統的な音楽が忘れられることはないだろう」 同段第3文 (Also, younger generations …) の、若い世代の伝統的で古い音楽に対する無関心と上の世代の死去に伴う音楽の消滅への危惧の内容と不一致。

ウ. 「音楽と文化は長く共存しているのだが、私たちはいまだに一方からもう一方のことについて学ぶことはしていない」 音楽と文化の表裏一体性について述べている同段第1文 (Since music can …) の内容と不一致。

エ. 「研究者たちは、私たちの音楽遺産の中の一部は失われるかもしれないと思っているが、このことを否定的な現象であるとは見なしてはいない」 同段第2文に古い伝統的音楽の消滅を危惧する記述があることと不一致。

問3. ウ. 「研究者が音楽を保存するために用いる技術の一つは、他の人々が複製できるようにするため、古い録音物を聞いて聞いたものを書き起こすことである」 第3段では様々な音楽の保存方法の中から2つを紹介しており、第4・最終文 (Researchers also transcribe …) で紹介され

ている2番目の方法の内容と一致。

ア。「人々は音楽を保存することを望んでいるが、このことを行う努力は下降傾向にある」同段第1文に There is a growing effort to preserve music in its many forms. 「音楽を多くの形態で保存しようとする努力がますます大きくなっている」とあることと不一致。

イ。「1900年代初頭、フランシス=デズモアは最近作曲された人気のあるアメリカ先住民の音楽を録音した」同段第3文(For example, in …)後半に Native American songs that had been sung for many generations but were in danger of being forgotten 「何世代にもわたって歌われてきたが忘れられてしまう危機にあったアメリカ先住民の歌」とあることより、当時作曲されたばかりのものではなかったことがわかる。

エ。「研究者たちはもっぱら録音施設内で、様々な種類の音楽の生演奏の音を録音した」同段第2文(Some researchers create …)に field recordings 「現場録音」とあることと不一致。

問4. ア。「収集家たちは音楽を手に入れたいと思うが、彼らはそうすることに多くの努力を払うことには後ろ向きである」第4段全体は音楽収集家の前向きな努力について述べている内容であり、特に同段第2文(Some collectors are …)後半の will spend a lot of time and money 「多くの時間や金を費やす」の部分と不一致。

イ。「音楽収集家は容易に市場で手に入れることができないテープやビニールレコードを入手することを切望している」同段最終文(For example, some …)のパンクロックファンとジャズファンの具体例と一致している。

ウ。「音楽収集家は特定のジャンルからのある音楽を手に入れようとするだけではなく、その形態に関しても好みがあることがある」同段第2文の好みの音楽の収集に情熱を注いだり、最終文のカセットテープやビニールレコードにこだわったりする収集家の姿と一致。

エ。「様々な時代、場所、そして文化を源とする音楽の保存は、音楽収集家の活動によって支えられている」第4段全体、特に第1文(Collecting music is …)・第3文(Their efforts help …)の内容と一致。

問5. ア。「音楽の保存に取り組んでいる組織は、特定のジャンルには全く焦点を当てていない」第5段第1文(There are also …)に very

specific kinds of music 「非常に特殊な種類の音楽」とあるのと不一致。

イ. 「イーデルゾーン協会が保存しようとしているユダヤの音楽は、現代的でもありふれたものでもない」 同段第2文 (For example, the …) に old and rare Jewish music 「古くて珍しいユダヤ音楽」とあることと一致。

ウ. 「スニ企画は重要で高名なアルメニア人作曲者の音楽を保存する努力に専念している」 同段第2文半ばのスニ企画に関する記述と一致。

エ. 「テレビゲーム音楽保存事業団のおかげで、一般人がテレビゲームの音楽をそれが最初に聞かれたのと同じ方法で聞くことができる」 同段第2文最終部分の内容と一致。

問6. イ. 「現代の科学技術は、同じ音楽への関心を持つ人々のネットワークの構築に貢献している」 最終段第2文 (Smartphones can be …) 後半と一致。本文の smartphone 「スマートフォン」は Modern technology に含まれると考えられる。

ア. 「将来、現代の科学技術にもかかわらず、音楽が失われてしまうであろうことは避けられない」 現代の科学技術のおかげで音楽の保存が可能になったという最終段全体のテーマに反している。特に同段最終文 (Soon, losing a …) 「ほどなく、ある音楽を失ってしまうということは過去のものとなるかもしれない」と不一致。

ウ. 「最先端科学技術は、人々が友人と音楽を共有する能力を過小評価してきた」 同段第2文後半に、スマートフォンによって共通の関心を持つ人々を見つけることができる、とあることと不一致。

エ. 「現代科学技術の発展は音楽を保存する手順を複雑にしてきた」 同段第1文 (Now, modern technology …) に easier 「もっと容易に」とあることと不一致。

問7. エ. 「1900年代初頭の社会学者は、世代を越えて受け継がれることが決してなかった民謡音楽を録音することに成功した」 第3段第3文 (For example, in …) に、1900年代初頭に社会学者のフランシス=デズモアが録音したアメリカ先住民の歌は、何世代にもわたって歌い継がれてきたものである、とあることと不一致。

キ. 「科学技術革新は音楽の保存や共有をより複雑で難解なものにした」 最終段第1文 (Now, modern technology …) に much easier 「さらにも

っと容易に」とあることと下線部が不一致。

ア. 「私たちが聞く現代音楽の多くは、ただ1種類だけではなく、様々な種類の音楽にさかのぼることができる」第1段、特に第1・2文 (Much of the …) と一致。選択肢の can be traced back to ~ 「~にさかのぼることができる」は本文中の has roots in ~ 「~に根源を持つ」に対応している。

イ. 「使用されるメロディーや歌詞というような手段を通じて、音楽は人間の文化を表現する」第2段第1文 (Since music can …) と一致。本文では through its lyrics, melodies, and the instruments used 「その歌詞、旋律、そして使用されている楽器を通じて」と3例の媒体手段を挙げているが、選択肢では such means as ~ 「~のような手段を通じて」の中に melodies と words used の2例だけを挙げるに留めていることに注意。

ウ. 「若い世代からの関心の不足と上の世代の死が、複数の音楽のジャンルが絶滅に向かう可能性につながっている」第2段最終2文 (Also, younger generations …) と一致。本文の may not find such music very appealing 「そのような音楽はそれほど魅力的だとは思わないかもしれない」≡ A lack of interest 「関心の不足」、pass away 「亡くなる」≡ the death 「死」と対応しているところに注意。

オ. 「研究者たちが研究している録音物の中には、別の複製を見つけることが困難であるという点において非常に希少なものもある」第3段第4文 (Researchers also transcribe …) の sometimes the only one of its kind left に一致。

カ. 「熱心な音楽収集家の中には、最近製造されていない音楽を探し求めることに時間とお金を捧げる者もいる」第4段第2文 (Some collectors are …) と一致。